

いずみざき

泉崎村子ども議会

No.36
平成30年5月1日発行
議会だより

輝く未来を子どもたちへ



いずみちゃん

目次

- 2～3ページ……新年度予算決まる！
- 4～6ページ……議会の中身～今年度の重点事業はコレ
- 7～10ページ……議員が村政を問う！
- 11～13ページ……子ども議会を開催
- 14ページ……子ども議員感想・編集後記（表紙：泉崎第一小学校）

子ども議会を
初開催！！

予算決まる！

昨年度対比
12.6%の減

36億5,500万4千円



3月6日(火)～15日(木)までの10日間の日程で平成30年第1回泉崎村議会定例会を開催しました。

条例の新規制定、一部改正、補正予算、人事案件など29件の議案が提出されました。

初日に村長が施政方針を述べ、平成30年度の村政について述べました。一般質問においては5名の議員が施政方針、また村政全般についてを質問しました。

○一般会計の内訳は？

項 目		30年度	29年度	比較増減	説 明
歳入	自主的財源				
	村 税	10億9,777万円	10億9,556万円	221万円	村民税など村に納められるもの
	分 担 金 / 他	7,702万円	8,242万円	△540万円	分担金、使用料、寄付金、財産収入
	繰 越 金	1億円	5,000万円	5,000万円	前年度からの繰越金
	繰 入 金	1億1,998万円	4億6,572万円	△3億4,573万円	特別会計や基金から繰り入れる
	依存財源				
	譲与税・交付金	1億6,121万円	1億7,027万円	△906万円	市町村の均等を図るため交付される
	地方交付税	8億9,550万円	9億3,000万円	△3,450万円	市町村の均等を図るため交付される
歳出	国・県支出金	10億3,060万円	12億2,443万円	△1億9,383万円	国、県が使用目的を特定して交付される
	村 債	1億7,290万円	1億6,498万円	791万円	事業を行う為に借りるもの
	合 計	36億5,500万円	41億8,341万円	△5億2,840万円	
	義務的経費				
	人 件 費	5億9,901万円	6億8,864万円	△8,963万円	職員、議員報酬等に支払うもの
	扶 助 費	3億451万円	3億417万円	33万円	医療費・児童手当等
	公 債 費	3億5,894万円	3億5,992万円	△98万円	村の借金を返済するためのもの
	投資的経費	4億5,946万円	6億4,235万円	△1億8,289万円	災害復旧、建設事業等に使う
その他	物 件 費	10億1,930万円	7億5,912万円	2億6,018万円	賃金、業務委託料、消耗品、備品購入
	補 助 費 等	5億5,852万円	10億162万円	△4億4,309万円	補助金、負担金等
	維持補修費	2,288万円	1,243万円	1,045万円	維持・補修するためのもの
	繰 出 し 金	3億1,376万円	3億4,081万円	△2,704万円	特別会計に繰り出すもの
	そ の 他	1,858万円	7,431万円	△5,572万円	投資及び出資金、予備費、積立金等
合 計	36億5,500万円	41億8,341万円	△5億2,840万円		

副村長に 箭内氏同意

◎議案第29号 泉崎村副村長の選任につき同意を求めることについて



氏名 箭内 憲勝氏 住所 泉崎村大字踏瀬字踏瀬

このたび4月1日より久保木正大泉崎村長の下、副村長として村政の一端を担わせて頂くこととなりました。もとより微力ではございますが、今までの行政経験を生かし「心豊かで元気あふれる村づくり」を基本姿勢に、魅力ある村づくりに向け、決意新たに全力を尽くす所存でございます。

村民の皆様のお一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

3月定例会

会期：3月6日(火)
～3月15日(木)

平成30年度

(／：議長は採決に加わりません)

議案番号	議 案 件 名	議席	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		可・否	飛知和良子	廣瀬 英一	星 一	中野目正治	小林 勝衛	田崎 能信	岡部 英夫	白石 正雄	鈴木 清美	鈴木 盛利
議案第1号	泉崎村家庭保育支援給付金支給条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第2号	泉崎村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第3号	泉崎6次産業館の設置及び管理に関する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第4号	単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の全部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	×	○	○	○	／
議案第5号	泉崎村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第6号	泉崎村定住促進条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第7号	泉崎村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第8号	村長等の諸給与及び費用弁償並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例	否	○	×	×	×	×	×	×	○	×	／
議案第9号	泉崎村特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第10号	泉崎村保育所条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第11号	泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第12号	泉崎村介護保険条例の一部を改正する条例	可	○	○	○	○	○	○	×	○	○	／
議案第13号	泉崎カントリーヴィレッジ・ターミナルの指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第14号	泉崎6次産業館の指定管理者の指定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第15号	平成29年度泉崎村一般会計補正予算（第5号）	可	○	○	○	○	○	○	○	×	○	／
議案第16号	平成29年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第17号	平成29年度泉崎村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第18号	平成29年度泉崎村介護保険特別会計補正予算（第3号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第19号	平成29年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計補正予算（第1号）	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第20号	平成30年度泉崎村一般会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	×	○	／
議案第21号	平成30年度泉崎村国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第22号	平成30年度泉崎村後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第23号	平成30年度泉崎村介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第24号	平成30年度泉崎村介護老人保健施設特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第25号	平成30年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第26号	平成30年度泉崎村水道事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第27号	平成30年度泉崎村工業用地造成事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第28号	平成30年度泉崎村住宅用地造成事業会計予算	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
議案第29号	泉崎村副村長の選任につき同意を求めることについて	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
発議第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書の提出について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／
発議第2号	待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める意見書の提出について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	／

注目! 新規条例

子育て世帯への支援!

議案第1号 泉崎村家庭教育支援給付金支給条例

◇家庭で第二子以降の3歳未満の子どもを保育する方を対象に月5千円を支給

④対象となる人数は?

⑤現在40名。出生、転入等を見込み予算上50名。

議案第2号 泉崎村指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例

◇指定権限が福島県から泉崎村へ移譲されるため新たに条例を制定する

議案第3号 泉崎6次産業館の設置及び管理に関する条例

◇5月オープン予定の6次産業館の設置、管理条例を制定する

3月議会の 中身

議案第4号 単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の全部を改正する条例

◇職員の給与に関する条例に準用して今までのものを全部改正するもの

議案第5号 泉崎村行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例

◇情報連携を行うための独自利用事務を条例で定めるための改正を行うもの

議案第6号 泉崎村定住促進条例の一部を改正する条例

◇本条例の有効期限平成30

年3月31日を6ヶ月間延長するため所要の改正をするもの

議案第7号 泉崎村人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

◇人事行政の運営に関する報告事項の追加など所要の改正をするもの

議案第8号を否決

議案第8号 村長等の諸給与及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例

◇厳しい財政事情を考慮し村長が15%、副村長、教育長が5%の給与月額を削減するもの

④泉崎は厳しい財政か?

⑤交付税関係がかなり落ち込んでいる。

約1億1千万減になる。

議案第8号討論

【反対討論】

- ・議会と村側で議論をしてから上程を。時期尚早で反対。
- ・本場に緊迫しているのか情報が少ない。

・村側と議会一緒のかたちを取るべきだ。

【賛成討論】

- ・村長の高度な政治判断に敬意を表し賛成。

・泉崎はお金で大変な時があった。村長の思いに賛成。

—賛成者少数につき
原案否決—

議案第9号 泉崎村特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◇農業委員会の委員等の能

率給の支給にかかる報酬額及び鳥獣被害対策実施隊の報酬額を新たに定めるもの

議案第10号 泉崎村保育所条例の一部を改正する条例

◇入所基準が保育にかかる事由から、保育を必要とする事由に変更され、本条例の所要の改正。平成29年度から行っている第2子以降保育料の無料化事業を附則に加えるなど

議案第11号 泉崎村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

◇これまでの本村の国保税算定方式を4方式から3方式に変更するため条例の改正をする

議案第12号 泉崎村介護保険条例の一部を改正する条例

◇介護保険給付費の見込みに応じた平成30年度から32年度の保険料に改正

議案第13号 泉崎カントリー
ヴィレッジ・ターミナルの
指定管理者の指定について
◇指定管理者の指定
「有会社イブミザキコー
ポレーション」

議案第14号 泉崎6次産業
館の指定管理者の指定につ
いて

◇指定管理者の指定
「株式会社さつきの里」

議案第15号 平成29年度泉
崎村一般会計補正予算（第
5号）

④畜産クラスター事業は
減額？

③地元の同意を得られず
事業実施が困難なため。

②産地パワーアップ事業
減額？

①県指定の基準に合わせ
見直しを図り、30年度に
おいて新たに事業申請。

議案第16号 平成29年度泉
崎村国民健康保険特別会計
補正予算（第2号）
◇歳入歳出予算の総額を8
億7千550万5千円とする

議案第17号 平成29年度泉
崎村後期高齢者医療特別会
計補正予算（第1号）
◇歳入歳出予算の総額を5
千994万3千円とする

議案第18号 平成29年度泉
崎村介護保険特別会計補正
予算（第3号）
◇歳入歳出予算の総額を5
億6千297万7千円とする

議案第19号 平成29年度泉
崎村農業集落排水処理事業
特別会計補正予算（第1号）
◇歳入歳出予算の総額を2
億246万4千円とする

議案第20号 平成30年度泉
崎村一般会計予算

④教育支援体制整備事業
の部活動指導員は誰が何
をする？

③非常勤の特別職。教育
経験者、スポーツ指導者
等で学校からの推薦で選
定し平日4日の2時間程
度と土日の大会等で指導。

議案第21号 平成30年度泉
崎村国民健康保険特別会計
予算
◇歳入歳出それぞれ7億2
千834万9千円とする

議案第22号 平成30年度泉
崎村後期高齢者医療特別会
計予算
◇歳入歳出それぞれ5千526
万9千円とする

議案第23号 平成30年度泉
崎村介護保険特別会計予算
◇歳入歳出それぞれ5億4
千707万9千円とする

議案第24号 平成30年度泉
崎村介護老人保健施設特別
会計予算

◇歳入歳出それぞれ43万9
千円とする

議案第25号 平成30年度泉
崎村農業集落排水処理事業
特別会計予算
◇歳入歳出それぞれ2億756
万7千円とする

議案第26号 平成30年度泉
崎村水道事業会計予算
◇収益的収入2億5千564万
円、収益的支出2億809万3
千円とする

議案第27号 平成30年度泉
崎村工業用地造成事業会計
予算
◇収益的収入193万4千円、
収益的支出241万6千円とす
る

議案第28号 平成30年度泉
崎村住宅用地造成事業会計
予算
◇収益的収入1億1千420万
2千円、収益的支出6千532
万2千円とする



議会録画中継が泉崎村HP上から視聴できます！
～泉崎村HP村議会から～

広報いずみざき
 申請書ダウンロード
 便利なサービス Convenient Services
 村議会
 泉崎村公式 Facebook
 閲覧ランキング View Rankings

アクセス件数

- ・ 会議録 延べ件数 4,711件
(月平均 61.3件)
- ・ 議会映像 延べ件数 5,038件
(月平均 64.6件)



平成30年度重点事業(抜粋)

地域・環境

◇谷地久保地区造成工事
29年度に解体したいずみ団地跡地を造成整備

900
万円

◇賃貸戸建住宅建設事業

若者世帯の定住を図る為4棟目の戸建住宅を村内村有地に建設

1,340
万円

◇道路等側溝堆積物撤去処理支援事業
側溝の除染を行う

8,492
万円

教育・子育て

◇基礎学力向上推進事業
(放課後学習・プチスクール)
土日、放課後の学習会

800
万円

◇基礎学力推進事業
(英語・数学検定料助成事業)
検定料の助成を行う

129万
5千円

新◇学校給食費助成事業

幼稚園の無償化に加え
小・中学校の給食費を半額補助

2,046
万円

新◇家庭保育支援給付金支給事業

家庭保育を行っている世帯に
給付金(第2子以降3歳未満まで)
5千円/月

300
万円

健康・福祉

新◇クロスカントリーコース整備事業

さつき温泉周辺にクロスカントリーコースを整備し健康の維持と集客を図る

300
万円

新◇結婚新生活支援事業

少子化対策として結婚に伴う入居引越し費用を補助(世帯所得340万未満の新規に結婚した世帯)

151
万円

◇敬老祝金支給事業

75歳以上の高齢者の長寿を祝い祝金の支給

518万
5千円

◇家族介護慰労金支給事業

要介護4及び5の在宅高齢者を介護している家族へ慰労金を支給

300
万円

◇緊急通報体制等整備事業

1人暮らしの高齢者世帯に対し緊急事態を安全センターに通報

320万
6千円

職員採用について

白石 村民から、職員採用に不正があるのではないかと訴えがあった。これにどう答えるのか。また、今年採用予定の正職員の数と臨時職員数、さらに現時点での役場正職員、臨時嘱託職員数などをお示しいただきたい。

総務課長 平成30年度職員採用試験は大学卒程度と社団法人基礎の二つの枠で実施。採用試験は、大学卒程度が7月23日、社団法人基礎は9月17日、福島市の福島県自治会館で実施した。試験問題は福島県町村会を通じ、公益財団法人日本人事試験研究センターに委託して関係団体一斉に実施した。



白石正雄 議員

一次試験合格者は、大学卒程度は、教養試験。社団法人基礎は教養試験に類する職務基礎力試験の県平均点を上回る得点の受験者を合格とし、その後、二次試験で論文、面接を行い、合格者を決定した。

村長 不正採用などというのは全くの誤解です。私はむしろ基準をクリアすれば、だれでも合格するんだという堅い意思のもとやっている。合格者10名位いる。今度の合格者も含めて、大半は再挑戦して合格している。しっかりとルールを作ってやっているからだと思う。情実人事をする時代ではない。厳格にやっている。合格した者は自信をもって、村民の為にやっていただきたい。

6次産業館の運営

白石 5月オープンに向けて準備が進められている6次産業館の運営方針、販売収支計画、組織体制はどう

なっているのか。直売所の運営は、どこも大変厳しい。根拠になる6次産業化法は、地元資源を活用して新事業を作り出し、国産農産物の消費を拡大して地産地消を推進しろと言っている。赤字になって許されるのは、泉崎の資源を活用して新事業を創り、多くの村民に働く場所を提供する事が本格的な目標となった場合だけだと思いが、具体的構想は持っているのか。

事業課長 指定管理者による管理運営を行う。直売所実行委員会と株式会社による運営とする事で準備を進めてきた。1千万円の資本金を調達し、現在は株式会社設立に向けて、法人登記の作業を急いでいる。開設の期間は、4月1日から3月31日の年度間での開設とした。開設は、3月から10月までは9時から18時まで。11月から2月までは9時から17時まで。販売方法は、委託販売とし、残った品物は引き取っていただく。販売する農産物等は、生産者を

登録制とし、登録手数料をいただく。販売手数料は、売り上げの20%以内で調整する。販売代金の清算は、月初めから月末までの1か月分を翌月の10日までに出荷者指定口座に振り込む。その他はルール規定を設ける。初年度売り上げ目標は3千万円。定期的な現地イベントや村と連携したPR事業、首都圏への外売りやインターネット販売等にも取り組む計画となっている。

白石 総合的な構想が見えない。この施設を地域振興の中核にできるのか。単なる直売所で終わってしまうのではないかと心配している。

村長 私は、村民が特産品をみんなで開発して欲しい、泉崎村ここにありという心意気を示す思いに期待している。積極的に住民の参加を促して、我々もリーダーシップをしっかりとって、運営を軌道に乗せていく努力をしていきたいと思っている。

教育のあり方

白石 平成18年に成立した新しい教育基本法では、旧基本法と違い政治と義務教育との関係が変わっている。教育の地方分権ともとれるが、議会が義務教育に関することができる範囲はどこまでか。

教育長 平成27年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、新教育委員会制度が導入された。総合教育会議で、首長は教育に関する予算の編成、執行及び条例案の提出に権限がある。教育委員会は公立学校の設置、教職員の人事、教育課程等、これまでと同じく執行機関として役割が分担されている。しかし、両者は密接な関連を図ることとされ、地方公共団体に総合教育会議の設置が義務付けられた。議会で提案があれば、総合教育会議で検討し、教育委員会が実現に向けて検討していく。

(7)議会だより
平成30年5月1日

役場機構のグループ制度について

田崎 役場機構のグループ制について議論したい。グループ制は県も平成15年から平成19年の5年間実施して又元の制度に戻した。泉崎村は平成26年度にグループ制を採用している。グループ制を採用した理由と目的を伺いたい。

総務課長 7課2室を3課に統合、再編したことにより、一つの課やグループ内の業務内容が以前の課や係よりも広い範囲の分野を担当することになったため、事務の効率化が図られたということでもあります。

村長 課長から答弁がありましたけれども、今の形を基本にして、非常に重要なポイントなので、我々執行者も含めて真剣に議論していきたい。



田崎能信議員

田崎 グループ制によって窓口が複雑になってきている感がある。そんな中、住民福祉課の窓口が二つあるが、介護認定を受けるのにはどの窓口なのか。その窓口で用が足せなくて役場の近くにある保健センターまで行かなければならないのか。住民にとって利便性のある方法を検討するよう求めるがいかがか。

総務課長 窓口ではできるだけ住民の方に苦労かけないように親切に対応はしようとはしております。

必ず職員一人一人が対応できるようにしておりますのでご理解いただきたいと思っております。

福祉グループ長 介護保険の要介護認定をしたいという申請があった場合は、福祉グループが窓口になっております。介護認定が決定しまして、介護保険のサービスを今後受けるという場合には保険証が交付された後に保健センターへ行っていただくこととなります。一連の流れでそのまま保健センターにも行かなければいけないということはありません。

議会のペーパーレス化について

田崎 ペーパーレス化についての質問というより議論になるのかと思うが、このペーパーレスとは一言でいえば紙を使わないと訳されている。

佐賀県の佐賀新聞の3月25日報道で「地方議会でペーパーレス化進む。コスト削減狙い、全国で60の市町村で導入されている」という報道されました。コスト削減や利便性の向上が狙いで議論の活性化にも繋がると

いう記事でありました。ちなみに大津市議会では議会のメール化、効率化に加え印刷費や費用だけでも200万円以上節約されたとしております。この流れはITやAIの時代で4次産業革命の時代だと言うんだそうです。その一端として、ペーパーレス化もあると思っております。

泉崎村で議会のペーパーレス化の検討委員会などを立ち上げペーパーレス化を

進める時ではないか。行政としての考え方針を伺いたい。

総務課長 議会に関連する全てのものをペーパーレス化するには、段階を踏んだ方法で進める必要があると思えます。

議案をタブレットに取り込んで行う場合、操作で苦労する場面も出てくるものと思われまます。まずは、ペーパーレス化検討委員会を立ち上げるなど議会内でよく検討し議論を重ねる必要があると思えます。

村長 課長が答弁したとおりが基本でありますけれども。田崎議員からそういう提案が出たということですが、これは我々も真剣に受け止めなくちゃいけないかなと。田崎議員が積極的に他の議員さんに働きかけて検討委員会ができればありがたいと思えます。

でしゃばりおよね支援条例制定について

田崎 少子化について12月議会ですでしゃばりおよね支援条例」の制定を求めたところでありまます。村長の答弁は少子化の現象は深刻な現象として共通認識した。ただ、支援条例の制定には慎重に前向きに考えたいとのことでありました。そんな中、2月に福島市で結婚世話焼き人募集がありました。10人程の登録があり活動しているとのことである。その他に本宮市や複数の自治体もやっているようであります。これらの自治体と交流をして民間レベルでも交流を広めていく為にも改めて条例制定を求めるのがいかがか。

産業グループ長 福島市、田村市、西郷村の各事業とも無報酬でのボランティア活動となっております。

本村におきましても、これらの事例などを参考に条例とするか、要綱とするかを含め、今後研究してまいりたいと考えております。

高齢者に対する政策について

飛知和 村では高齢者に対する政策として福祉バスふれあい号で週2回の買い物を実施している。

利用状況の把握は如何でしょうか。

生涯学習グループ長 週2回の買い物バス利用状況。村内便は水曜日、金曜日は矢吹便を運行している。利用状況は、村内便は51回運航83人の利用。矢吹便は48回運航263人の利用。利用者の増加を図る。

飛知和 ふれあい号を利用し買い物に行く人は健常者、心配なのは歩けなくて買い物や医者に行けない方、又免許証返納者などの方に対して村独自の方法がありましたら返答願いたい。



飛知和 良子 議員

移動スーパリーのチラシ、昔のちりんこですね。元スーパーもとやなぎや直売所も今後開店するので是非検討を頂きたい。

村長 ふれあい号の利用についてもよりよい方向を考えていきたい。元スーパーもとやなぎの件も他のスーパーに直接交渉する等して利便性を考え誘致を考えた。スーパーが無くなって1年ちょっと、とくに遠出の出来ないお年寄りの方。まとまり次第、早急に考えていきたい。

飛知和 野菜のほか魚、肉、惣菜も真剣に考えて取り入れ経営していかなければ大変である。ちりんこ件の、是非考えて取り入れてほしい。

車の免許返納について

飛知和 数年、高齢者による死亡事故など大きな交通事故が多発し、社会問題になっている。全国で免許返納を推進している。村として良い方法はないか。返納

している方は何人いるのか。

福祉グループ長 近隣市町村では返納された方には、いろんな手助けをしている状況である。今後、高齢化が進み増える事を考え財政を見据えながら真剣に考えて行く。

村長 返納者に対する自治体の施策調査を大至急で行い良い方法でまとめたい。

子ども議会について

局と協力し希望に沿うよう私たち議員も一緒に協力して考えて行きたい。

教育課長 今回実施しました子ども議会については6年生の社会科公民の学習時間の中で実施いたしました。子ども議会は、子ども達に村づくりについて関心を持ってもらう事。

二. 次の世代を担う子どももの視点や感性から見た意見や考え方を村政に生かしていくと行いました。

飛知和 第1回目の第一小学校の子ども議会を機に第二小、中学校の子ども議会を是非、大変でも先生方や教育委員会の方に協力を頂きお願いしたい。とくに中学生は18歳から選挙権が与えられるので是非経験して頂きたい。指導のほどよろしくお願いします。

教育課長 来年度以降の子ども議会については、子ども議会を教育課程に取り組み第一小、第二小が合同で行う事は可能かと思えます。今後、校長会で検討し、中学生の子ども議会開催についても併せて検討したい。

飛知和 子ども議会の中で直売所の件を取り上げていたので。我が家のアイディア料理コンクール入賞作品が広報に載っているの、是非、直売所で何らかの形で、弁当、食堂とかで提供して頂きたい。

村長 子ども達の議会の中の質問全てがまじめに考え、自分の思いを質問していました。6次産業館で弁当の提供とか、村民参加で、色んなかたちで施設を有効に使ってもらいたい。議員の言うものも良いアイデアと思いますので今後検討していきたい。

飛知和 村民参加が一番大事、子ども達も参加すれば家族中で喜んで来て下さる。

村長 子ども達が緊迫した、静かな物事を決めていく場所というのは、このような所なのですよ。自分達で質問したり、体験したことの良い経験だと思います。議員は本気になって村の事を考えているのだと実感したのではないかと考えます。

健全財政、家庭保育交付金について

鈴木 今年度の予算は35億位であり、村税は10億9千万位であります。大きな事業として駅東口の計画があり、基金は今年度で6億位の積み立てになるようですが、7億5千万からの基金をつくれば一般会計に手を付けずに健全な財政がつけられてくると思えますがいかがか。

村長 健全財政についての考え方まさしく議員が言ったように思っています。JRの方から言われているのは、1億位高いのかと思っています。6億台位で跨線橋を考えていきたい。財政基金については泉崎村はワースト3で10億をちょっと超えているが20億位を蓄えにすることを気持ちの中に入



鈴木清美 議員

れて予算組をしたいと思っています。

鈴木 その気持ちで健全財政に目を向けて行ってほしい。

家庭の保育の支援の交付金が議案にのっております。実際には保育所に預けなくてもいい家庭がある。じいちゃん、ばあちゃんがいて見てもらっている人も中にはいる。そうすることにより保育所の先生の確保に見通しがつくのです。

村長 家庭保育交付金については、各家庭で一生懸命面倒見ながら教育をしてくれることについて感謝の意味も込めてということと平等と公平という意味合いで今年度から管内で比較的早くスタートしようと思っています。

鈴木 保育所ばかりに力を入れるだけでなく、家庭で子どもを育てているために共稼ぎで本当に一緒に働かないと今の時代大変ですが、家庭でも面倒を見ている人達に交付金というものがつくられ、その事で面倒見てくれる人たちにも良かったのかなと思っています。

定住促進戸建住宅について

鈴木 定住促進戸建住宅について抽選日を教えてください。それと同時に保育所、幼稚園の申込日を教えてください。

産業グループ長 戸建住宅3号棟の抽選日は平成30年2月17日抽選会を行っています。

教育課長 募集期間幼稚園は11月1日から11月13日の間に募集を行います。保育所については期間として11月15日から22日までこれ以降も随時受付を行っています。

鈴木 豊かな住みよい村づくりとか優しい村づくりとか項目ありますが本当に定住しようと思っただけで2月で決まって3月、4月と2カ月位しかない状況で、一体何が優しいのか。表面に出すべきじゃないと思うんですよ。最低でも5、6カ月前に入る人を決めてあげれば、定住する人たちも

安心できると思います。来る人をもっと大事にしてあげるべきじゃないか。

村長 当初予算で認めていただいているから、現場に指示をする。最終的に私の責任なんです。当初予算が3月に決定しているので早い時期に募集ができるように十分に対策は練れると思います。スピードアップを図っていきます。

鈴木 15日過ぎると4月になり一般会計が通るので、すぐに準備ができます。9月位には抽選ができる状態にしてあげないと安心してられないと思うのです。人口減少だといって大きく言っています。一般的に小さな気配りが無いと思います。訪ねてくる人はすぐドキドキしながら来るんですから、その時に優しい対応をしてあげることでも大変大きなものだと思えますからしてあげてください。

陸上競技場の利用について

鈴木 今回子ども議会の中でイベントを行ってほしいという意見がありました。子ども達は泉崎をすごく大事に思っている。こんな事をやって欲しいと思っただけです。陸上競技場の現状復旧後に泉崎のメリットとして何かいいイベントどんな考えを持っているのか。子ども達には約束しているのに、子ども達には嘘をつかないように。

村長 子ども議会で見聞や要望は、非常に私にも伝わりました。クロスカントリーの件、一般財源から3、4千万かかるので教育課と何か補助金ないか探しています。イベントは私も考えている。イベントは是非ともやりたいと思っています。

鈴木 子ども達の約束は果たしてもらおうという約束です。ので終わります。

議会定例会傍聴感想 泉崎第二小学校6年生

12月議会
一般質問

泉崎第二小学校から平成29年第4回12月定例会の議会傍聴の感想が届きました。感想の一部を抜粋してご紹介いたします。

- ・ 挙手をして意見を出すことが分かった
- ・ もとやなぎのお店の復活、さつき公園の駐車場など泉崎のことをしっかり話し合っていて決めていた
- ・ テレビで見る国会の様子とはまた別なんだなと思いました
- ・ さまざまな人が役割分担されていて議会がスムーズに動いていた
- ・ 議場を見て中の造りが写真で見た裁判所に似ていると驚いた



傍聴席で一般質問を傍聴

- ・ あまり村の人の声を取り入れずに話をしているとずっと思っていました
- ・ 緊迫した様子で正々堂々発言する議員さん方はすごいと思った
- ・ すごく静かで想像と違っていた

福島県町村議会 議員研修

○2月1日(木)

ビッグパレットふくしまにおいて福島県町村議会議長主催の議員研修会が行われました。研修内容は次の通りです。

「自治体と地方創生」

明治大学教授

牛山 久仁彦氏

「難題に直面する」

安倍1強政権」

政治ジャーナリスト

泉 宏氏



常任委員会報告 経済文教 常任委員会

○3月6日(火)

議会開会初日において、経済文教常任委員会に付託された陳情書2件について審議いたしました。

県内の最低賃金は全国でも31番目と低く、また待機児童を解消し地域の子育て支援の拡充を図っていくためにも2件とも採択いたしました。



○議会に提出のあった陳情書

陳情書	件名	提出者
陳情書第1号	福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める陳情書	日本労働組合総連合会福島連合会 白河地区連合会議長 畠山 史信氏
陳情書第2号	待機児童解消、保育士配置基準の見直しと処遇改善を求める陳情書	福島県保育連絡会 代表 大宮 勇雄氏

平成29年度泉崎村子ども議会
 泉崎第一小学校6年生

平成30年2月15日



『お土産屋さんをつくってほしい』

泉崎村のPRになるようなものを真剣に考えたい

1番 須藤 咲来 議員

問 お土産屋さんを作れば、お菓子やキーホルダーで泉崎村がどんな村か伝わると思います。いずみちゃん、のキーホルダーや埴輪のクッキー、泉崎村観光マップを商品にしてほしい。四号線の近くの直売所にこのお土産屋さんを作ってほしい。

答 6次産業館の中で販売実現できたらと思う。村のマスクotteいずみちゃんの原型は6次産業館の反対側、原山古墳から出た埴輪がモチーフ。泉崎村のPRにもなり、いろんな案があるので、真剣に考えていきたい。

7番 中山 晟 議員

『街灯をつけてほしい』

通学路中心に改善していく



問 街灯をつけると事故も減り、事故ゼロの安全な村を目指してほしい。帰りに暗いので踏瀬の通学路に、今ある街灯に加え街灯を増やしてほしい。

答 通学路を最優先に、普通の電灯からLEDに換え。足りない所は新しく街灯をつけるよう進めている。不便があれば両親、議員さんや区長さんに伝えて、皆さんが不便をきたしている所は大至急改善したい。



3番 金澤 桜介 議員

『地下施設をつくってほしい』

皆で平和が持続していくよう努力していかなければならない

問 日本は戦後75年位平和が続いていた。また戦争になり、関係の無い人が亡くなるかもしれない。そのためには、防空壕のような地下施設をつくってほしい。戦争になってからつくっても遅いと思う。

答 色々経過があるが戦争にならないよう私達人を中心にして絶対止めなくてはならない。国、世界に訴えていきたい。色んな歴史があり自分の国を守るといふ意識が強いのではないかと思う。国際交流を通して、皆で仲良くしようという思いになれば、必ず戦争はおきかないと思う。



もとやなぎ りくと
4番 本柳 陸人 議員

『屋内施設をつくってほしい』

現在ある施設見直しや国・県の補助金等検討したい

問 雨の日、屋内施設ができれば、思いっきり体を動かせます。僕たちの体力、競技力向上のためにも屋内施設を作ってほしい。

答 トレーニングセンター、屋内ゲートボール場の有効活用、また違うような施設に切り替え等も考えたい。屋内プールの要望が多くあるので、補助金と村予算含め検討したい。



のざき りょういち
5番 野崎 凌一 議員

『ペットカフェをつくってほしい』

経営、管理衛生上難しいが是非検討したい

問 休みの日にゆっくりでき、ペットと触れ合えるようなカフェができるといい。動物と触れ合える場所があるところから泉崎村がもっと有名になっていくかもしれない。

答 猫カフェは管理衛生上の問題、あるいは犬のドックランも含め、どういうふうか実現するかが非常に難しい所がある。難しいような管理のようないや、サギ、やぎ、羊等も含めそのような場所がある場合、別の癒しの場所になると感じた。



はしもと かえで
6番 橋本 楓 議員

『イベントを行ってほしい』

冬場のイベント、またクロスカントリー大会実現に向け検討したい

問 冬場のイベントが少ない。何かできないか考えてほしい。村の特徴を活かしたクロスカントリー大会の話があったが今、第一案として、さつき温泉の周囲を回るクロスカントリーコースの展開をしたい。補助金の確認をしたい。さつき温泉のログ棟を中心に合宿が多いので、非常に喜ばれるのではないかとと思う。そういった利用者も増えるのではないか。

答 冬場のイベントが少ない。何かできないか考えてほしい。村の特徴を活かしたクロスカントリー大会の話があったが今、第一案として、さつき温泉の周囲を回るクロスカントリーコースの展開をしたい。補助金の確認をしたい。さつき温泉のログ棟を中心に合宿が多いので、非常に喜ばれるのではないかとと思う。そういった利用者も増えるのではないか。



問 冬のイベントが無いので少し寂しい。スポーツ大会を行ってほしい。泉崎村の山や森の特徴を活かしてクロスカントリー大会もよいと思う。



議事進行の小林真緒議長



いずみちゃんイルミネーションを披露
小山大星副議長、丸山遥希議員

*** 次期定例会の予定 ***

開会6月7日(木) / 一般質問 6月12日(火)の予定



子ども議会を行って子ども議員感想

- 村の安全などが、議会で守られていることを知ることができました。
- 議会を経験して、このようなことをすれば、この泉崎村がもっと良くなるということが分かったのだとてもいい経験でした。
- 僕たちの生活にあるイベントやお店などは、議会によって決められて僕たちの生活に役立っているのだなと思ひ、とても勉強になりました。
- 緊張しましたが、いい経験ができたと思います。自分の考えを取り入れてもらえるかもしれないということが、とても嬉しかったです。
- 議場を見ってきましたが、とても立派な建物でした。昔の役場より良くなっていました。この議場も泉崎村を良くするために作られた建物なんだなと思いました。
- 僕は初めて議会を体験して、どれだけ議会が大変なのかが分かりました。
- リハーサルの時より人が多いので、本番の時はすごく緊張しました。自分が言ったことが実現して欲しいなと思いました。
- 僕の質問に対する答弁はとても分かりやすく、簡単には泉崎村にすることができないということが分かってよかったです。
- たくさんの人がいてとても緊張したけれど、成功して良かったと思います。私は発表が少し苦手だったけれど、子ども議員になって少しだけ発表ができるようになったかなと思いました。
- リハーサルに参加しましたが、本番に出席することができずとても残念でしたが、議場の大きな椅子や席を見て緊張感を覚えました。みんなの前で発表するということを改めて学ぶことができ良かったと思います。

編集後記



一週間前倒しの「鳥峠カタクリ祭」に参加した。今年には植物の目覚めが早い、カタクリ、こぶし、山桜、イチリン草・ニリン草、山吹と多種の花が咲いていた。
桜ウォーク、葉桜一歩手前であったが心配された雨は降らず、盛況でした。
今年も、大量の「秋刀魚」を提供し焼いてくれた、気仙沼、大島の有志の皆様には感謝したい。

編集・発行責任者 鈴木 盛利
 編集委員長 鈴木 勝衛
 委員長 小林 清美
 副委員長 鈴木 清美
 委員 飛知 和良子
 委員 星 英夫
 岡部 英夫